

# 私たちが「被災地」から受け取ったもの ——陸前高田とお茶大・グロ文の9年間——

2020年2月29日（土）：13時～18時

国際交流留学生プラザ 2F 多目的ホール

参加費無料

要申込（学外者および懇親会参加者）  
<https://forms.gle/fBQiXLts4JSNCVKL6>



関連企画

2月28日（金）15：30～17：30

小森はるか・瀬尾夏美『波のした、土のうえ』

上映会&講演会

共通講義棟2号館102室

《関連企画申込》

※関連企画への学内者の参加は自由です。学外者は以下にお申し込みください。

[kumagai.keichi@ocha.ac.jp](mailto:kumagai.keichi@ocha.ac.jp)

# PROGRAM

開会挨拶(13:00～) 三浦 徹 (お茶の水女子大学副学長)

## 第1部 2019年度陸前高田実習参加者の報告 (13:10～)

司会：小川杏子 (お茶大博士課程)

グループA：「震災の記憶の継承と地域文化」

グループB：「コミュニティの復興と若者世代—Uターン・Iターン者に焦点を当てて」

グループC：「被災地の復興とケア—場所・風景の喪失と高齢者の居住」

## 第2部 私たちが陸前高田から受け取ったもの (14:20～)

司会：小林 誠 (お茶の水女子大学教授)

「陸前高田うごく七夕に通い続けて」・・・新井杏子 (グロ文4期生) ・古島真子(同6期生)

「つながりを考える—陸前高田と私たち」・・・佐藤文香 (グロ文9期生)

「7年間の陸前高田実習から見えてきたこと～学生の視点の変化と「復興」～」

・・・小川杏子 (お茶大博士課程、2013～17年、19年度TA)

「陸前高田の原風景と風土の復興」・・・熊谷圭知 (お茶の水女子大学教授)

## 第3部 私たちは陸前高田とどうつながるか (16:20～) 司会：熊谷圭知

「その出会いは、コーヒーから始まった～お茶大と米小仮設の9年間～」・・・佐藤一男氏

全体討論

コメント：岡本翔馬氏

※終了後、18:30より多目的ホールにて懇親会を開催します。参加費3,000円 (学生は1,000円)  
当日参加も可能ですが、会場準備の都合もあり、できるだけ事前に予約してください。  
予約は表面「受付」QRよりお願いします。

## GUEST



佐藤一男

認定NPO法人 桜ライン311 理事  
元米崎小学校仮設住宅 自治会長  
防災士

岡本翔馬

認定NPO法人 桜ライン311代表



Special Guest: 東平享浩

## 関連企画 INFORMATION

小森はるか・瀬尾夏美『波のした、土のうえ』

(2014年製作)

<https://eiga.com/movie/87040/>

ドキュメンタリー「息の跡」などを手がけた映像作家の小森はるか、画家で作家の瀬尾夏美が、東日本大震災の被災地となった岩手県陸前高田市で3年間かけて行ってきた制作活動の集大成的作品で、津波被害を受けた陸前高田の人々の言葉と風景の記録から物語を起こすように構成された、3編の映像集。被写体となる住民たちに行ったインタビューをもとに瀬尾が物語を起こし、住民たちが訂正や調整、書き換えを行いながら物語を朗読。書き直しや朗読を繰り返す声を、小森が町の風景と重ねて映像を編み上げた。